



事業の転換

令和6年7月10日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

思考パターンの変更は、事業の再構築を与える。これら常識的判断から、新しい現実の有する変化という現実へ参加を提案するものである。

これらは既存パターンからの脱却とともに新しい企業への転換を、経営者とリーダーにおいて実現できるのである。

これら新しい意識の共有は、企業風土を転換し新しい企業としての自己を模索できるのである。

これらは、思考は現実を生み、行動は現実を与えるのである。これら変化は企業計画や目標ビジョンとともに、それら新しい現実を行うことができるのである。

これらは時代要求において全ての企業は新しい自己環境を今日求められることは真実なのである。

これら思考パターンの変更は、既存現実の連続性から、新しい自己現実への転換を模索する選択として提案するものである。

変化を求めることは自己が変わらなくてはいけないのである。

それが市場や時代を牽引する企業における基盤なのである。

他方において時代先端企業への洞察を求め、自己企業が率先して新時代要求に準じた企業への転換を求める必要性なのである。

これらは既存現実の崩壊における今日、変化という潮流に対する企業の選択として誤りではないはずである。

これらは企業の意識が時代と対等に自己を得ることにおいて、それら新しい現実と主に企業が未来を有することを与えるものである。